ボーリング柱状図

調　査　名　主要地方道　吉田邑南線　交通安全施設等整備事業に伴う詳細設計業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	5	2	3	2	0	5	7	0	0	0	2

シートNo.

ボーリング名	Bor No.2	調査位置	安芸高田市美土里町横田	北緯	34° 43' 36.0475"	
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	平成29年10月31日～平成29年11月 2日	東経	132° 37' 49.6384"	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 328.60m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 90°東 180°南 270°西	地盤勾配	30° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦D2G-58	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	8.00m								エンジン	ヤンマーNS-130	ポンプ	東邦D1C58

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日
1	326.75	1.85	1.85		粘土質砂	茶褐	緩い		粘性土分50%程度含む。 GL-1.0mまで草根混じる。 GL-1.0m以深から粘土化した強風化土状を呈する。		
2	326.10	0.65	2.50		礫混じり粘土質砂	茶褐	緩い		径2～5cmの礫を20～30%程度混入する。 粘土化した強風化土状を呈する。		
3					安山岩	茶灰	中くらい		安山岩の強風化部であり硬軟の変化が著しい。 コア長L=20～40cm程度で採取される未風化岩芯を多く残す。 風化部は粘土質砂状を呈しており脆弱である。		
4											
5	323.60	2.50	5.00								
6					安山岩	茶灰	非常に密な		安山岩の風化部（軟岩）。 コア長L=20～40cm程度で採取される未風化岩芯を多く残す。 風化部は撹乱すると礫混じり砂状を呈する。		
7											
8	320.60	3.00	8.00								
9											
10											
11											
12											
13											

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値
1.15	1	2	2	5/30	4
1.45					
2.15	4	2	2	8/30	4
2.45					
3.15	7	7	4	18/30	14
3.45					
4.15	6	6	8	20/30	14
4.45					
5.15	5	45		50/20	50以上
5.35					
6.05	25	13	12	50/30	50
6.35					
7.15	14	36/2		50/12	50以上
7.27					
8.05	50			50/10	50以上
8.15					

N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験

深度 m	試験名及び結果

試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
				10/31
				11/1
				11/2